



令和3年度 第3号



学校だより 6月号

自分大好き みんな大好き ひとみかがやく 西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>

「ふわふわ言葉」があふれる学校



副校長 大嶋智子

「ほら、芽が出たよ!」「昨日より大きくなっている!」

生活科や理科の学習教材、地域コーディネーターさんが手配してくださった“はまみらい”など、今、学校の玄関先には花や野菜の苗が次々届いています。植木鉢や花壇に植えられ、ぐんぐん育っています。代金を握りしめて学区内の店舗に行き、自分で選んだ苗を購入した学年もあります。子どもたちは水や日当たり、周囲の安全など、植物の成長をまるで自分の分身のように愛おしみ、お世話をしています。植木鉢や花壇に目をむけると、「元気に育ってね～」の子どもたちの声が聞こえてくるかのようです。



どこかで聞かれたことがあるでしょうか。植物に水をあげる際、優しい言葉をかけた植物と、何の言葉もかけない植物とを比べたら、花の付き方、咲き方が違ってきたと。科学的な根拠はないようですが、昔から言われる言霊（ことだま）であったり、音声の波動があつたりするのでしょうか。

「植物の成長」は目視できますが、「自分の心身の成長」は、体格数値以外、自分ではなかなか気づけません。周囲からの「できたね!」「すごい!」「よかったよ!」の“価値づけ”の言葉ではじめて気づくことができ、目には見えない自信や成長につながっていきます。日常の「できて当然」なことでも、「助かったよ。」「おいしかった!」「ありがとう!」と返されると、大人でも心がふんわり温かくなります。学校では、こんな言葉を「ふわふわ言葉」と呼んでいます。(反対に相手に嫌な思いや、いじめ・いじわるにつながるような言葉や言い方を「チクチク言葉」と呼んで指導しています。)



優しい言葉、ふわふわ言葉があふれる学校環境の中で、子どもたちを育ててまいります。

「育てたように子は育つ」 あいだ みつお

本校教育活動へのご支援をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。